



瀬戸内哲学研究会

連続セミナー

「現象学的アプローチの諸相」

2018年5月26日（土） 14:00-17:00 「現象学とエスノメソドロジー」

講演者：前田泰樹（立教大学・社会学）・酒井泰斗（会社員、ルーマンフォーラム）

2018年6月 1日（金） 14:00-16:00 「現象学的考古学」

講演者：松本直子（岡山大学・考古学）

2018年6月 9日（土） 13:00-17:00 「現象学・当事者研究・精神医学」

講演者：石原孝二（東京大学・哲学／当事者研究）・榊原英輔（東京大学・精神医学）

フッサールを創始者の一人とする現象学は、20世紀以降の哲学におけるもっとも重要な潮流のひとつであるだけでなく、哲学の外のさまざまな学問領域に対して、特に方法の面で大きな影響を与えています。この連続セミナーでは、社会学・考古学・当事者研究・精神医学という領域からスピーカーをお招きして、（1）現象学的方法がそれぞれの領域にどのように受け止められたのか、（2）この方法はそれぞれの領域において実際にどれくらいの成果を上げたのか・上げることが期待できるのかについてお話しいただきます。

参加無料・事前登録不要

会場 岡山大学津島キャンパス文法経一号館（詳しい情報は下記のウェブサイトで追ってお知らせします）

問い合わせ先 岡山大学文学部 植村玄輝（uemurag@okayama-u.ac.jp）

<https://setouchi-philosophy.weebly.com>

サントリー文化財団 人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成「感情の哲学の学際化に向けた国際的研究体制の構築：現象学的方法の検討を通じて」（研究代表者：植村玄輝）
科学研究費補助金（若手研究）「現代現象学の基礎に関する歴史的・体系的な研究」（研究代表者：植村玄輝）

